

# かんきょうレポート

2 × × × 年度

株式会社

## ごあいさつ

21 世紀は、環境の世紀といわれています。20 世紀に花を開いた科学文明の発達によって人類は生活上のさまざまな利便さを享受してまいりました。反面それらの結果、大量生産・大量消費につながる大量廃棄などによる負の遺産が大きく我々の目前にあらわれてきています。

われわれは先人として何としてでもこの負の遺産を子孫に引き継ぐようなことをしてはいけません。

当社は、事業を進める中で少しでも環境面の負荷を減らしてクリーンな地球を子孫に残すべく努力をしていくことを経営の基本的な重要事項として、たとえ効果些少であっても日夜努力をしております。

ここに私どもの本年度の環境保全の結果をご報告してみなさまのご批判をおおぎたいと存じます。

2 × × × 年 月

株式会社

代表取締役社長

環境太郎

株式会社 環境宣言

基本理念

株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

方針

株式会社は 装置××等の製造・販売に係わる全ての事業活動これらの製品の環境影響を低減するために次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 電力使用量の削減
  - (2) 事務用紙使用量の削減
  - (3) 工場周辺の清掃等社会貢献
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。
5. 京のアジェンダ 21 フォーラムのパートナーシップに基づく地域の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2×××年 月 ×日

株式会社

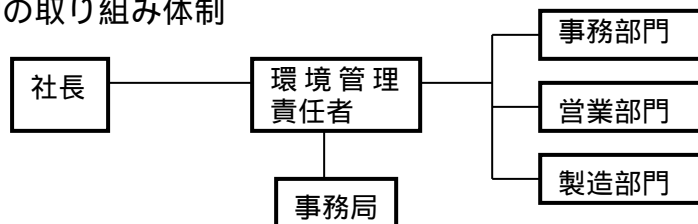
代表取締役社長

環境太郎

会社概要

会社名 : 株式会社  
所在地 : ×市 区 町××番地  
事業内容 : 装置××等の製造、販売  
代表取締役 : 社長 環境太郎  
資本金 : 、 、 円  
従業員数 : 名 (内 パートタイマー 名、派遣社員 名を含む)  
敷地面積 : 平方メートル  
述床面積 : 平方メートル  
沿革 : 年 月設立  
同年 月創業開始  
年月 ××市に工場建設・創業開始

環境活動の取り組み体制



・ 認証取得内容

K E S 登録証

登録日：2 × × × 年 月 日

登録番号：K E S 1 -

・ 環境活動の内容と実績

2 × × × 年度環境改善活動実績

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
電力 2 × × × 年度比 2 %削減	・ スイッチの適正管理 ・ 休憩時間の消灯確認 ・ 製造設備の休止時電源オフ	kwh	kwh	A
事務用紙使用 量の削減 2 × × × 年度比 2 %削減	・ 両面コピーの活用 ・ 裏面の再利用 ・ パソコン・電子メール活用	枚	枚	B
工場周辺の 清掃 (月 1 回)	・ 工場周辺及び付近の歩道を毎月清掃する	1 2 回 / 年	7 回 / 年	C

評価記号 A：良好（100%以上）B：やや不足（90～100%）C：不適合（90%以下）

・ 具体的環境活動のご紹介

電力の削減では、照明や空調設備について部屋ごとにこまめに消灯や運転温度の基準を作り、確認のための担当者を決めて実行をして確認記録を残して環境管理責任者が定期的にチェックをした。最初のうちは実行がばらついたが自然に癖がついて各人が意識して管理するようになっていった。

製造設備については、設備の種類ごとに空転時の条件を設定し、暖気運転等を踏まえて停止すべき基準を設定して担当者への教育を行った。

事務用紙削減については、「両面コピー徹底作戦」と銘打って全社的にコピーの両面印刷化の実行と確認を行い成果を挙げた。

又、裏面の再利用については再利用可能文書の種類を定めてこれら文書は新しい紙が使われていないかを徹底してチェックした。（むしろ今では裏紙が不足している状況である）

更に、裏紙は保存状態によってコピー時に機械つまりなどをおこすので保管を考慮した容器を工夫した。

## 活動総括、第3者意見、事業概要

### ・環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はない。

### ・2×××年度活動の評価と今後の課題

電力削減及び事務用紙の削減については細かい基準を作成して徹底して管理した結果、前述の如く大きな削減成果を得た。しかし事務用紙については、中間期にイベントがあったため一時的に使用量が増加して、目標達成にいたっていない。又、周辺清掃については、管理が徹底せず途中で抜けがでた。

来年度については、今年と同じ目標を掲げたい。

電力の削減を創意工夫で更なる挑戦をする。

用紙については一層の意識徹底を図り、再度チャレンジする。又、清掃については、管理表等の徹底で完全実施を目指す。

尚、来年度は次の年のテーマ決定のための予備調査項目をサブテーマとして掲げることを検討している。次年度テーマとしては極力本業に係わる内容のものを取り上げていくことを意識する。

### ・第3者の証明・意見

#### 1. 審査機関の証明

株式会社の審査を担当したのものとして、当社がトップから従業員全員に至るまで環境保全の意識が極めて高く、日々環境宣言の達成のために継続的に努力されていることを確認しています。

KES ステップ「 」の要求項目に合致しています。

KES 主幹審査員 凸川凹夫

#### 2. コミュニケーション（利害関係者の感想）

株式会社が KES 環境活動に取り組み始めてから従業員の方が自分の家でも電気や水の無駄遣いについて関心をもって日々対処されていることをお聞きして、我々も賛同して共に運動を広げています。素晴らしいことです。（町内会長 山次郎）

株式会社さんの KES 認証とそれに続く活動は当社のグリーン購入に貢献しており、今後とも信頼できる取引先として認定しています。（株式会社 製作所 注：大手得意先）